

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
2019年度 第2回理事会議事録

日時: 2019年6月18日(火)

会場: 文星芸術大学附属高校研修室

出席:(理事)16名 阿部泰紀、上野秀夫、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、鈴木克美、福田悦男
直井秀幸、新村雅司、菊地宜秀、渡辺諭、益子基久、阿久津宏一、佐々木清美
日向野剛、山田将樹

(監事)1名 井上尉央

欠席:(理事)3名 小曾戸和彦、佐藤智信、日向野信行、前原延之

(監事)1名 荻美紀

1 あいさつ

阿部会長: 雨の降りそうな天候の中、出席いただき感謝する。本日は、代議員会の準備、国体選手の選考等よろしく審議願う。

2 審議事項【一部】(議長: 会長)

専務理事: 国体各種別の監督が出席しているので、国体選手の選考をここで審議したい。

—承認される—

定足数について: 理事総数20名、内出席者16名で、本会議は成立する。

議事録署名人: 3×3委員会 菊地宜秀 氏と 車椅子連 佐々木清美 氏 にお願ひする。

(1) 2019年度国体選手・監督・スタッフの選考(案)について(強化部)

ア 少年男子: U15より強化練習会、強化大会、最終選考会を経て12名に絞った。
高2年生2名・1年生10名で国体に臨みたい。

—承認される—

イ 少年女子: U15より強化を重ね12名(高2年生4名・1年生8名)に絞った。

—承認される—

- 少年種別には中3年生を入れることが望ましいとなっているので、リザーブに中3年生を入れている。
- 選手登録は、期限内に済ませ、選考会議に提出する際には登録完了の確認をしてほしい。

ウ 成年男子: 白鷗大学の学生9名と社会人3名、スタッフ4名で編成した。
スタッフについては、学生からア・コーチ1名とマネージャーを入れている。

—承認される—

- 成年種別については、参加資格等事前にチェックしなければならないことがあるので要注意。
- 成年男子の強化については、白鷗大学生の強化、本県出身の学生の就職状況、本県出身社会人のふるさと制度の活用、Bリーグ等選手の協力等、社会人連とも協力しながら、推進する。
- 今年度、社会人連から推薦のあったスタッフを中心として、栃木国体に向けて強化を図る。

エ 成年女子: 白鷗大学女子バスケット部に一任したメンバーである。

—承認される—

- 学生の参加資格で問題となるのは、現住所である。男女ともに、大学へ確認済である。

3 報告事項

(1) 各種大会報告

ア 関東大会(高校)の結果

男子: Aブロック 宇工 一回戦敗退 Bブロック 文星芸大附属 2位

女子: Aブロック 作新 二回戦敗退 Bブロック 白足高 2位

(2) 強化部より

○少年男子は8/7~11韓国強化遠征、8/13~15埼玉文理高校と強化合宿を行う。

○少年女子は8/6~7に西方・TKCアリーナを使い静岡と福島(U16チーム)と強化練習試合を行う。
8/12~15に福岡遠征、8/18~20に愛知遠征を行う。

(3) 財務部より

○OBREXとのスポンサー獲得委託契約について、現在契約を結ぶ段階まで来ている。

(4) 競技部より

○代議員会資料として平成30年度大会結果をまとめた。訂正・追加があれば連絡してほしい。

○天皇杯・皇后杯県代表決定戦について、社会人連からは辞退の連絡を受けている。

今のところ参加予定は白鷗大男女だけである。高校についてはインターハイ予選終了後に打診する。

(5)事業部より

○Bリーグ支援委員会の方でTO・スタッツのメンバーを選定している。

(6)アンダーカテゴリー部会の進捗状況について

ア U12部会

○U12カテゴリー部会の候選定委員及び県協会関係者の名簿を作成した。他のカテゴリー部会でも名簿を作成し提出してほしい。

○第44回ミニバスケット大会の記念Tシャツの販売を6月から実施する。

○6/30にU12ジュニア育成選手の選考会を実施する。その後練習会を12回予定している。

イ U15部会

○現在リーグ戦前期を実施している。8/11に後期リーグ戦の代表者会を実施して、組織を固めていく予定である。

○U13～15の育成強化についてはDCスタッフの見直し、栃木国体へのスタッフの見直し強化を再検討中である。

○重点的には、U13を最優先としていく。8月の代表者会議では、育成強化方針を表明し、協力いただける人材の確保に努める。

○アドバイザーだけではなく、白鷗大学など多くの人材に協力願い、3年間で点数を獲得できる少年種別にしていく。

○今後は選手選考会ではなく、参加基準となる数値を示し、トライアウトを実施したい。

(7)審判委員会より

○6/29・30の白鷗大学を借りて男子A級の一次審査会、女子は次の週神奈川で行われる。

○7月の2週目にA級の更新講習会と2級インストラクター認定講習会が千葉で行われる。

(8)指導者養成委員会より

○5月末でコーチの登録が終了したが、未登録者とか過去に遡ってリフレッシュポイントが付いていない方が発覚したので調べている。まとめ次第、ポイントがなくて更新できていない方々を対象としてリフレッシュ講習会を7～8月に実施する。

○9月以降3月までに、通常のリフレッシュ講習会を5回程度実施する予定である。

○E級の養成講習会を9～10月に予定している。講師がまとめ次第ホームページに載せる。

(9)3×3委員会より

○5/25に開催されたプロリーグ ノースカンファレンスの開催に協力した。

○4月から東京オリンピックTO研修会が始まり、委員会の遠藤さんがJBAより推薦され、プレミアリーグを担当する研修生の強化員として参加している。

○栃木からは8名候補に挙がっている。9月末まで研修を行い、本大会のTO12名とスタッツ12名が決まる。ここで選抜されたメンバーが11月に開催されるワールドツアーファイナルの担当になる。

(8)その他の報告

ア 関東協会会議報告(資料参照)

イ 賛助会報告

○6/18現在、個人47名と5団体から入会いただき、総額646,360円となっている。

○7月中に会員証を送付する予定である。

○BREXホームゲームの観戦申込について変更があるので承知願う。(資料参照)

ウ BREX関係

①チャンピオンシップベスト4、レギュラーシーズン47勝11敗、東地区2位、全体2位で終了した。平均観客動員は4004名となり過去最高を記録した。

②2019-20シーズン契約選手が昨年と同じ陣容で、あとは田臥選手と外人枠1名となった。

③Jr.NBA世界選手権アジア太平洋選抜キャンプへ、Bリーグの推薦を受け荒井尚光コーチを派遣した。

④U18ユースの創設について、2020年4月をめどに創設する。詳しくはHP参照

エ その他

①審判部でインカムを使用しているが、3×3委員会でも10台購入した。大会等で利用してほしい。

②今年度から全国大会等でニューボールが使用される。協会としての対応を検討したい。

3 審議事項：続き(議長:会長)

(2) 平成30年度事業報告(案)について(事務局)

○代議員会の資料としたい。

—承認される—

(3) 平成30年度収支決算(案)について(財務部)

○収入計45,857,248円、支出計44,642,137円となった。

○法人化して3年目で初の単年度黒字1,133,711円となり、繰越残高は、4,580,565円となる。

●会計監査報告: 井上監事

6/6に会計監査を実施した。特に問題はない。

—承認される—

(4) 定款の改定(案)について(事務局)

○JBAの新登録制度により高校・中学・ミニの登録が各カテゴリーへの登録となったため改定が必要となった。

—承認される—

(5) 定款施行規則(案)の制定について(事務局)

○今まで定款に必要な規則については、細則を作って運用してきた。

○JBAにより、懲罰に関して裁定委員会や規律委員会を設置することになった等に伴い、今までの細則を施行規則としてまとめることにしたい。

—承認される—

(6) 裁定委員会及び規律委員会の設置について(事務局)

○JBAでは都道府県協会内に裁定委員会及び規律委員会を設置することとしている。

○定款施行規則に制定をもって、当協会内に裁定委員会及び規律委員会を設置したい。

—承認される—

(7) 茨城国体及び全国障害者スポーツ大会の視察について(事務局)

○この視察について、当初予算には視察費が計上されていない。

○県の国体準備室からの役員養成補助金の視察費の一部が、国体視察に使えるので、協会からもこれらの視察に対する旅費等の支出をお願いしたい。

○なお、例年実施している全国大会等の視察については、今年度は見合わせることにしたい。

—承認される—

(8) (一社)栃木県バスケットボール協会旅費早見表(案)について(財務部)

○現早見表では載っていない地域があるので見直したい。

○今年度運用については各連盟等に任せ、次年度からはこの早見表を使うことにしたい。

—承認される—

(9) その他

ア 賛助会費の運用について(上野副会長)

○賛助会費の使途について、Jrユース育成の一環として、国体少年種別選手の強化費関係の自己負担軽減に使いたい。

●賛助会費の使途については、jrユース育成全般に関わることなので、予算案等を提出して審議。

●次回の理事会は9月となるので、幹部会を招集して審議し会長決裁とする。

—承認される—

イ ユニバーシアード出場選手の激励について

○白鷗大学女子部の佐坂・軸丸両選手がユニバーシアードに参加する。

○協会から激励金3万円を贈呈したい。

○6/25練習終了時間(20:00頃)に合わせて会長と専務理事で激励に行く。

—承認される—

4 その他(その他なし)

5 あいさつ

片桐副会長: ○慎重審議ありがとうございます。